

無から生まれてくるもの

絵画指導 河野 眞一

昨年度からエデンの園利用者約10名の方の芸術活動のお手伝いをさせていただいている。縦25、横35センチの画用紙に絵の具やクレパス、ペンなどを使っての創作は自己の存在を確かめるかのように新しい世界が次々と生まれてくる。

Mさんは、小さな縦長の円形を画用紙いっぱいには描き並べることから始まり、20~30分後に筆を置き、ようやく視線が周りに移る。ひと仕事終わったという表情。すぐに次に使う用紙の催促があり2作目に移る。また、小さな円形の世界が広がる。円同士が隣と話しかけているようで表情があり、会話している声が聞こえてくるような不思議な感じがしてくる。言葉では表現しきれないコミュニケーションの響きである。

Yさんの黒の世界も面白い。クレパスを使っての描画は一度や二度塗り重ねては終わらず、数十回にもなるのだが、新しい命が湧き出してくるようである。

毎月、第一水曜日の午後、エデンの園「ホームひかり」の

ホールには10人のアーティストが集まり、すべてのものから開放されるかのように自分の時間を楽しんでいる。私はこの人たちから生み出される作品との出会いを楽しみにしている支援者であり、創作活動をしていただくための裏方でありたいと思っている。



中園さんと絵画指導中の河野

新任職員紹介



グループホーム「みらい」職員
高橋 宏江 (たかはし ひろえ)
高齢者介護等をしてきました。
With...とともに歩む心を大切に皆さんの支援ができればと思います。



生活支援員
黒木 瑛利那
私の目標は、嫌な事や辛いことがあってもいつでも明るく笑顔をつけない事です。私は、利用者さんに、好かれて頼りにされる職員になりたいと思っています。
そして、この職場で自分の長所をいかせるように、していきたいと思っています。



生活支援員
山中 由恵
今春、専門学校を卒業して入職した43歳新人です。福祉の仕事は初めてですが、皆様のお役に立てよう笑顔と元気で頑張ります。



生活支援員
寺田 法子
始めまして！趣味は食べ歩き！今年はヨガやボルダリングに挑戦し肉體改造するぞ(笑)！
利用者の皆さんと好きな事、楽しい事をたくさん見つけていきたいです。



生活支援員
大平 政博
宮崎保健福祉専門学校を卒業して、児童福祉施設で働いていました。
私は、利用者さまと一緒に喜びを見つけていく支援と療育をしていきたいと思っています。



生活支援員
長友 紉華
私は、宮崎医療専門学校を卒業しました。まだまだ分からないことがあるため、これからも学ぶ姿勢を忘れず、利用者の方の気持ちに寄り添えるような支援員を目指していきたいです。



生活支援員
馬原 舞衣
私は、今後の目標としては一つひとつの業務内容を理解し一日でも早く身につけていきたいです。
得意の音楽で皆さんを笑顔にして利用者の方の気持ちに寄り添えるような支援員になりたいです。何かとご迷惑をお掛けすると思いますがご指導の程宜しくお願いします。



生活支援員
馬庭 ちぐさ
私は、この春宮崎学園短期大学専攻科を修了しました。
得意の音楽で皆さんを笑顔にして利用者の方の気持ちに寄り添いながら支援に励みたいと思います。



生活支援員
福嶋 一途
8月の体験実習でアットホームな雰囲気惹かれ入職しました福嶋一途です。
生活支援員としては未熟者ですが、利用者様との関わりを通して学び、共に歩んでいけるように精一杯努力していきます。



生活支援員
末原 福徳
今春、日章学園を卒業し、エデンの園で働くことになりました末原福徳と申します。
皆さん、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



生活支援員
林 秋奈
私は、2つの目標を持っています。
1つ目は、何事にも自分から挑戦できる人になる事です。自分の中で自己処理せず、まずは挑戦する事が大事だと考えます。
2つ目は、利用者さんだけでなく、職員の方々が快適に過ごせる環境を作りたいと思っています。そのためには、笑顔で挨拶することを心掛けていきます。

お疲れ様でした



生活支援員 甲斐 絵美

エデンの園で生活支援員として働かせていただき、気づけば、あっという間に10年が経っていました。この度、3月で退職させていただくことになったわけですが、この10年間に本当に色々なことがあり、そして素敵な思い出もたくさんできました。

エデンの園で学ばせていただいたことを忘れず、これからも頑張っていきたいと思っています。

本当に10年間ありがとうございました。



ふれあいだより

「ふれあいの“地域貢献”を考える」

ふれあい 生活支援員 日高 信二郎

“ふれあい”に勤めて早や3年目を迎えましたが、働く中で“ふれあい”の存在意義についてよく考える事があり、その一つは“地域に影響を与える”ことであると思います。

今年の1月からエデンの園の地域貢献事業として、児童を対象にした「じょい・ほっぷ」事業が始まりましたが、“ふれあい”としても地域のニーズに応じていく必要があります。以前、私は職場適応援助者(ジョブコーチ)として障害者の就労支援や職業指導に携わっていた事がありますが、地域で働くこと(仕事)を通して利用者の生きがいに繋がり、地域貢献に寄与できていると思っています。

今年度より、“ふれあい”はこれまでの創作的活動に収益(賃金として還元)を目的とする生産的活動が加わりました。

国富町内で働く場を求めている障害をもつ方々は少なくはないと聞いています。地域に居住する障害者が働ける受け皿として、現活動から更に就労継続支援A型事業や就労移行支援事業への取り組みの足掛かりとなることを願いつつ、これからも利用者と共に日々の活動に頑張っていきたいと思っています。



おいしいクッキーができました！

主曜学校メッセージ

印 慶子牧師 (宮崎柳丸キリスト教会)
原田彰久牧師 (宮崎清水町教会)
佐藤省三牧師 (宮崎南教会)

海老原直宏牧師 (宮崎北聖書キリスト教会)
金 垣基牧師 (宮崎めぐみ聖書教会)

寄贈品寄付金ありがとうございます。

(敬称を略させていただきます H28.1月~3月)

吉田喜一、甲斐節子、佐藤カズコ、中内峯子、廣瀬貴子、山崎真一郎、宮王丸郵便局、飯干誠夫、中村敏男、甲斐 龍、菘生志美子、坂本美巴子、安田直子、宮崎ブラザーズ、片地フサ子、郷原富貴子、竹井義信、小田ウメ子、宮崎清水町教会、都農聖愛幼稚園、清水町教会女性会、匿名



ボランティア

河野泰三、落合理恵子、片地フサ子、佐藤カズ子、竹井静子、村木佐知恵、甲斐節子



桜が開花し気持ちいい季節となりました。新年度がスタートしニューフェイスが加わりベテランも中堅も初心に戻り良い刺激となっています。今年度はどんなドラマが待っているのでしょうか？利用者の方々とどのような物語を紡いで行けるか楽しみです。

宮本